

一般国道395号猿越橋耐震補強工事 現場見学会資料1

令和4年6月22日

株式会社 中央コーポレーション

1. なぜ地震に強い橋に補強することになったのか？

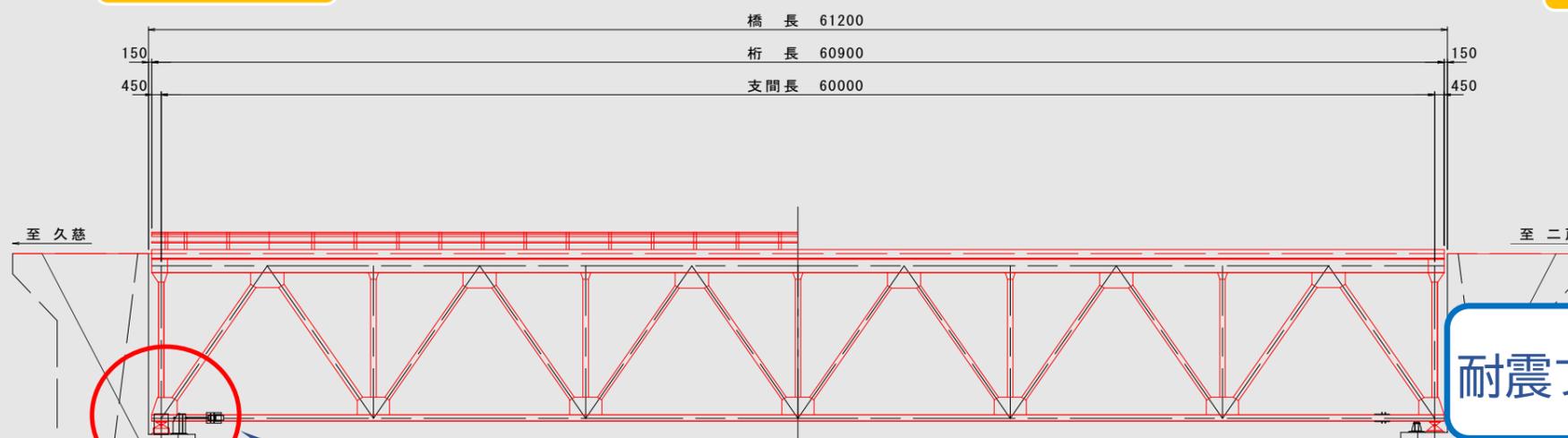
本工事は、昭和46年9月完成した橋梁の補強工事です。**(年齢だと50歳)**
橋桁・支承・橋台コンクリートが劣化し、緊急輸送道路※1に指定された重要な路線な事であることから劣化部材の交換・強化し強い地震が起きても耐えられる橋に補強しています。

※1 緊急輸送道路

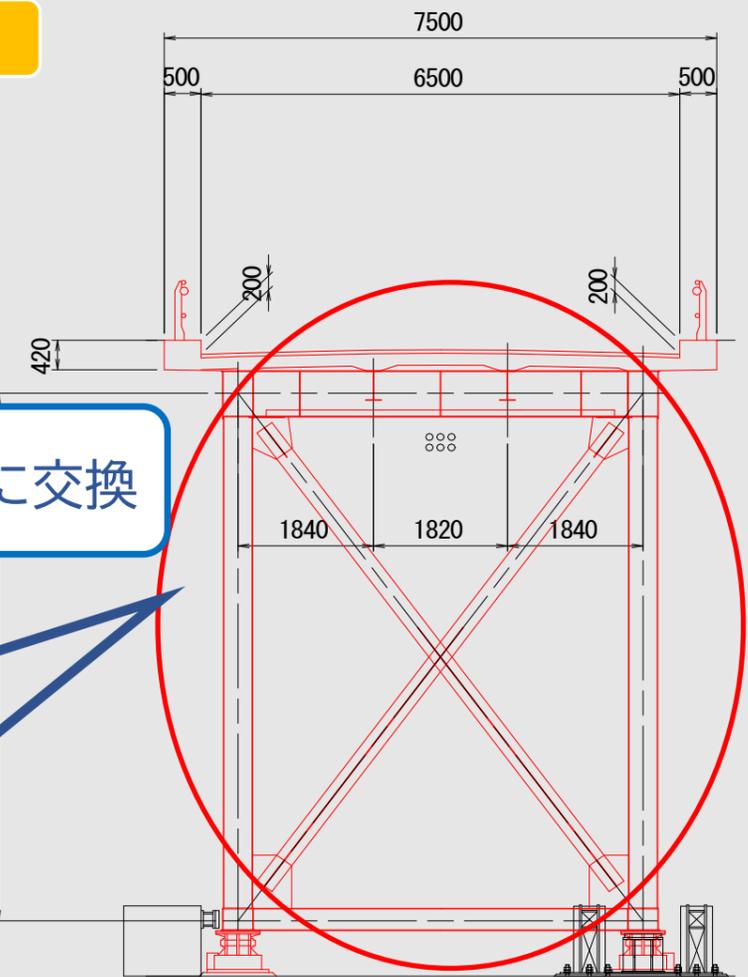
災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動の為に、緊急車両通行すべき重要な路線で高速道路や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路。

主に経年による劣化や冬場の融雪剤散布による塩害が鉄の錆やコンクリートの劣化につながっています。

〈一般図〉



〈側面図〉



耐震ブレースに交換

免震支承に交換



一般国道395号猿越橋耐震補強工事 現場見学会資料2

令和4年6月22日

株式会社 中央コーポレーション

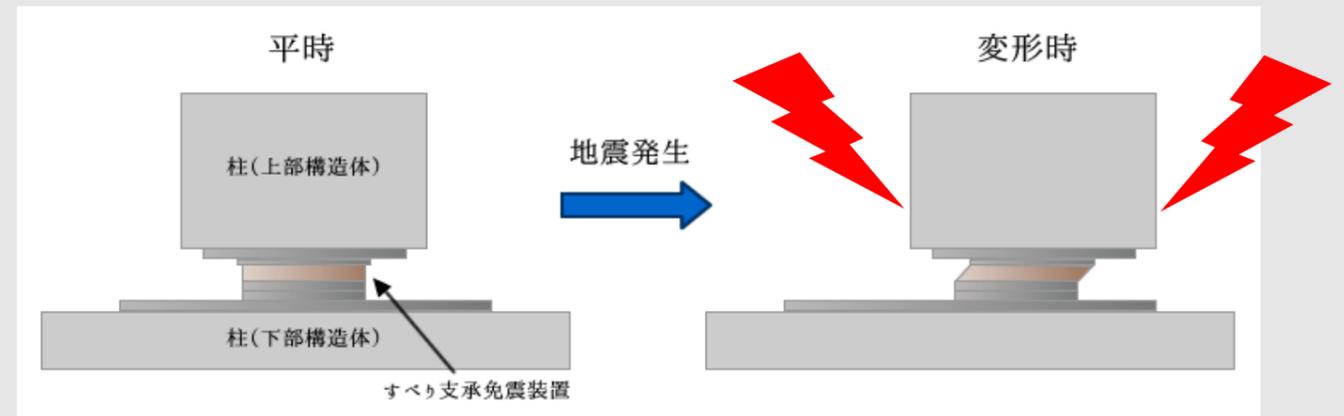
2. 免振支承とは？

- ・橋の主桁・橋台 の間に設置する部材のことです。(別名:沓 シュウ)
- ・地震による揺れを吸収し、橋桁など主要構造物を損傷させない為の部材です。
- ・橋桁が温度により伸び縮みし、橋桁の重量により、たわむのを受ける為の部材で常に橋桁を支えているので、非常に重要な部材です。

↓今回見て頂く現場になります。



図1:免振支承構造例



今回の現場で新しく交換します！！



交換設置完了！！



3. 耐震ブレースとは？

- ・圧縮したり引っ張られることに高い強度と粘り強さを発揮して、橋の耐震性を向上させる部材です。
- ・他に座屈※2も防ぐことができ、より耐震性が高まり橋を安全に保つことが可能になります。

※2 座屈

橋に荷重を加え続け、ある程度の荷重が掛かると変形具合が急激に大きくなる状態のこと。

↓現況ブレース撤去前 赤丸部分



撤去して橋が変形しない様に補強します。



交換設置完了！！(イメージ図)



一般国道395号猿越橋耐震補強工事 現場見学会資料4

令和4年6月22日

株式会社 **中央コーポレーション**

4. どうやって交換しているの？

1. 部材交換前



2. 仮受ジャッキセット



ジャッキをセットし新しい支承に

3. 部材撤去



専用の機械で



4. 撤去部材吊上げ



5. 部材撤去完了



6. 新しい支承取付



重量がある為クレーンで慎重に作業します。

7. 新支承取付



取付ミスがない様に



8. 完成



中央コーポレーション 会社説明動画
以下のQRコードにより、動画をダウンロードできます

